

学校企画実施計画書

東和町立佐沼小学校

企画実施担当 小松英明

1. プロジェクト名

情報活用の実践力向上プロジェクト

～主張性を key 概念として～

2. 企画のねらい

高度情報通信社会の進展に対応して、小学校・中学校・高等学校を見通した情報教育の必要性が指摘されている。とりわけ小学校では、受け手の状況などをふまえて発信・伝達できる児童の育成を目指して、情報を一方的に発信するのではなく、相手の立場に立っての情報発信ができるコミュニケーション能力の育成が求められている。

現在、様々な学校において児童のコミュニケーション能力の伸長を目的とした授業実践が行われ、様々なメディアを通じて報告されている。しかし、実践報告の多くは、児童の能力の伸長を教師の観察によって記述しており、統計的な手法などを用いて能力の伸長を述べているものは見られない。

それには、コミュニケーション能力と言う概念の多義性と広義性が影響していると考えられる。コミュニケーションといった場合、「感情の表出全てを含む」という学者がいるほど広義に用いられている概念である。広い概念であるが故、その能力を測る測度の開発も困難であり、児童のコミュニケーション能力を測る測度で妥当性を得られるものは見られない。そこで、本プロジェクトでは、心理学で用いられている主張性という概念を援用することとした。主張性とは、主張行動に関する個人特性のことである。主張行動とは、対人関係において他者の考え方や気持ち、立場、権利などを尊重するが、それと同じように自分の考え方や気持ち、立場、権利をも大事にし双方が望むような結果を最大限に得られるような言動のことである。この主張性は、「受け手の状況を考えて情報を発信する」という「情報活用の実践力」に通底すると考えられる。

コミュニケーション能力と主張性との関連についての先行研究としては、小松(1999)が挙げられる。小松は、質問紙を用いて大規模校と小規模校の児童に調査を行った。質問紙で得られたデータを元に、因子分析を行った結果、2因子解が妥当と判断した。第1因子は、自分自身の判断に自信があり、かつその判断に基づいて行動でき、自分の判断にそぐわないことには、誰に対しても拒絶することができるなど、自己中心的な考え方を示す因子であると解釈し、自尺度主張因子と命名した。第2因子は、相手を思いやり、協調的であり、自分から周囲に働きかけようとすることに関係する因子であると考えられ、他尺度主張因子と命名した。次に、因子得点について分析を行った。因子得点について、学校規模差×性差の2要因の分散分析を行った。自尺度主張因子では、性の主効果のみが有意であった($f(1,109) = 10.68, p < .01$)。両学校規模群とも「自尺度主張」因子の因子得点の平均は、男子群が女子群より有意に高かった。他尺度主張因子では、学校規模差の主効果のみが有意であった($f(1,109) = 16.40, p < .01$)。男女とも「他尺度主張」因子の因子得点の平均は、大規模群が小規模群より有意に高かった。また、小松(2001)は、小規模校の児童に対し、ネットワークなどを利用して学校規模を擬似的に拡大した授業実践を行うことにより、主張性改善の可能性が見られることを示唆している。

本プロジェクトは、上記研究対象を小規模校の児童から、大規模校の児童に変えたものである。小松の実践により、小規模校の児童に対してネットワークなどの情報手段を用いて学級規模を擬似的に拡大した環境で授業実践を行うことにより主張性を改善できることは確認できた。しかし、小規模校の児童に比して元々高い得点を有している大規模校の児童に対してネットワークなどの情報手段を用いた情報教育の授業実践がどのような影響を及ぼすかについてはまだ明らかになっていない。本プロジェクトにおいては、大規模校の児童を対象に情報教育の実践を行うことにより、児童の主

張性がどのように変化するかについて検討することを目的とする。

本プロジェクトを実施することにより，児童の主張性に情報教育がどのような影響を及ぼすかについて明らかにできる。また，得られた知見は，平成 14 年度からの新学習指導要領の実施を見すえ，情報教育の本格的実施を前に多くの学校に示唆を与えるものであると考える。

小松英明(1999) 小規模校における児童の主張性に関する研究 上越教育大学大学院修士論文

3. 企画の概要

(1) 対象

6年 総合的な学習の時間及び教科

(2) 実施内容

年間を通して，テレビ会議システムやメール，web，電子掲示板など様々なメディアを利用して学校間交流を行う。また，必要な場面では，機器操作についての指導も行っていくこととする。学校間交流の内容は，総合的な学習の時間で取り組んだ課題についての発表を中心としていくが，調査や相談，その他，学習活動以外でも交流を図っていく。総合的な学習の時間に関しての大まかな実施計画は以下の通りである。また，図中では，情報教育の目標との関連についても示す。なお，総合的な学習の時間は，この計画以外にも小単元を設定して課題解決学習を何度か経験させることとする。

総合的な学習の時間の内容	関連する情報教育の目標
将来の自分を考えよう。 ・ どんな人間になりたいか？ ・ どんな生活をしていきたいか？	<情報の表現およびコミュニケーション> 表現
職場体験をしよう ・ どんな職場を体験したいか？ ・ どの職場を体験するか？ ・ どんな仕事の内容か？ ・ どんな苦労をしているか？ ・ どんな夢を持っているか？ ・ はじめに思っていた職業のイメージは変わったか？	<課題解決における情報活用> 情報の収集
将来の自分の職業について考えよう。 ・ どんな職業を知っているか？ ・ どんな職業が向いているか？ ・ どんな職業に就きたいか？	<情報の表現およびコミュニケーション> 表現
夢の職業について調べよう。 ・ どんな仕事の内容なのか？ ・ どんな資格が必要なのか？ ・ 小学校や中学校でどんな力を付けたらいいのか？ ➤ 本で調べよう。 ➤ ホームページで調べよう。 ➤ 直接話を聞いてみよう。 ➤ 電話をかけてみよう。 ➤ E-mail を出してみよう。 ➤ Etc..	<課題解決における情報活用> 問題の発見と計画 情報の収集 整理・分析・判断 <適切な情報手段の利用> <情報に対する態度> <情報モラル>
調べたことを伝えよう。 ・ 父兄を対象に ・ もう一度，発表内容を検討しよう	<情報の表現およびコミュニケーション> 表現 メディアによるコミュニケーション

<ul style="list-style-type: none"> ・ 電子掲示板を利用して ・ テレビ会議システムを利用して 	<p>< 課題解決における情報活用 > 発信・伝達 < 適切な情報手段の利用 ></p>
--	--

現在考えている総合的な学習の時間における小単元の例（上記の他の小単元）

情報教育関連

- ◇ コンピュータの基本的な操作方法
- ◇ デジタルカメラの操作方法
- ◇ OHP シートの作り方と使用法
- ◇ ブラウザの操作方法
- ◇ ネットワーク利用上の注意
- ◇ ワードソフトの使い方
- ◇ 表計算ソフトの使い方
- ◇ プレゼンテーションソフトの使い方
- ◇ KJ 法とは
- ◇ 見えやすい色見えにくい色
- ◇ 粗筋をとらえる
- ◇ メディアの特性を知ろう

題材関連

- ◇ 外国について調べよう（図書館編）
- ◇ 外国について調べたことを発表しよう（図書館編）
- ◇ 外国について調べよう（インターネット編）
- ◇ 外国について調べたことを発表しよう（インターネット編）
- ◇ 全国の学校に佐沼小学校を紹介しよう（web を用いて）
- ◇ 佐沼小学校を紹介しよう（テレビ会議システムを利用して）

上記の総合的な学習の時間は、佐沼小学校のものであり、これ以外に交流相手校の発表や相談にも応じる時間を設定する。また、授業時間以外にも日常的な交流を web やメールを通して行うことを予定している。

なお、評価については、児童の作文や発表原稿、発話などから分析を行う。手法については、会話分析の方法を参考にしたいと考えている。また、上記カリキュラムの前半と終了後に質問紙を用いた調査を実施し、その変容を探りたいと考えている。

4. 実施体制

(1) 実施体制

学校内の態勢としては、校長の助言を受けながら、情報教育推進委員の企画運営により、6 学年担任 5 人が授業実践を行う。

交流相手校は、実施計画の詳細な確定後、実施計画に合う学校を選定する事とする。

選定に当たっては、企画実施担当者である小松が運営する学校間交流支援の web「交流の駅」(<http://hide-family.net/kouryu/>) や E スクエアの学校間交流希望データベース(<http://www.edu.ipa.go.jp/E-square/>) やメーリングリスト、知り合いなどのつてを利用する。

(2) 実施スケジュール

以下の計画にもとづき実践を行う。なお、準備の期間は、その実施の以前に行うこととする。

ID	タスク名	開始	終了	所要期間	Q2 01			Q3 01			Q4 01			Q1 02		
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	文献研究	13/04/16	13/08/17	90d	■											
2	ネットワーク整備 (申請・設定・テレビ会議システム敷設・LAN敷設など)	13/04/16	13/07/11	63d	■											
3	授業実践	13/04/16	14/02/12	217d	■			■			■					
4	授業分析及び評価	13/04/16	14/02/12	217d	■			■			■					
5	校内実技研修 1	13/06/19	13/06/19	1d												
6	学校のweb整備	13/04/16	13/06/29	55d	■											
7	校内実技研修 2	13/08/22	13/08/22	1d												
8	研究会参加	13/05/29	14/01/04	159d	■			■			■					
9	校内実技研修 3	14/01/21	14/01/21	1d												
10	公開授業研究会(教育課程)	13/10/18	13/10/18	1d												
11	研究のまとめ	14/01/11	25/09/30	305d										■		

5. 公開・非公開について

文部科学省及び宮城県教育委員会より公開指定を受けている。本研究を正面から報告するものではないが、授業公開を行う予定である。

6. その他(実践の状況)

現在、ネットワーク環境の整備、及び総合的な学習の時間のカリキュラムを開発している。